

スノーシューで歩く「冬の玉原自然観察会」参加者募集

主催 日本山岳会群馬支部
後援 上毛新聞社（予定）

日本山岳会群馬支部は、「冬の玉原自然観察会」を下記の通り開催します。厳しい玉原の冬を動植物たちはどのようにして過ごしているのか、関東有数のブナ林や湿原をスノーシューで歩いて観察する企画です。白銀の玉原高原を私たちと一緒に楽しく過ごしましょう。



- 日時 2026年3月8日（日） 9時～14時30分（予定）
- 集合場所 たんばらスキーパーク駐車場（ゲレンデに向かって左奥）
※駐車料金（普通車1,000円）がかかります。
- 内容 スノーシューで自然観察をしながら湿原、ブナ平を巡ります。
※コースは当日の状況によって変更になる場合があります。
- 持ち物 スノーシュー、ストック、防寒対策が必要です（防寒着、帽子、手袋など）、防水・防寒仕様の登山靴、スパッツ、昼食、行動食、飲み物（水のほかポットにお湯があるとよい）
※下着は綿素材のものは避け、化繊やウール素材のものにしてください。
※スノーシューをお持ちでない方は有料（1000円程度）でレンタル品を用意します。お申し出ください。なお、たんばらスキーパークにはレンタ

ルのスノーシューはありません。

- 参加費 大人1人 1000円（小・中学生は 500円）※保険代含む
- 定員 20人（ご家族での参加大歓迎。ただし子供は小学1年生以上）
- 申し込み 日本山岳会群馬支部事務局まで
ホームページ上に申し込みフォームがあります
(<https://shibu.jac1.or.jp/gunma/>)
- 締め切り 2026年2月20日（金）
※定員になり次第締め切りとさせていただきます
※参加者には、メールにて計画書をお送りいたします
- お問い合わせ 日本山岳会群馬支部
自然保護委員長 木暮 090-1838-1486